

ソフィア  
けんすけ  
とせいし  
バスト  
ウエッ  
ピ

アジャベ  
つよ  
ちよ  
う

おんな  
147  
113  
61  
94

じかんむせいげん  
イッパツ2G  
NGなし♡

元・賢者の  
見習い肉便器に  
ち○ぽの味を叩き込む本。

R-18  
成人向け



ソフィア  
にくべんき  
せいかく：どすけべ  
せいべつ：メス  
ねんれい：●4さい

Eあぶないみずぎ  
Eおとなのおもちや

しんちょう：147  
ばすと：88→113  
うえすと：55→61  
ひっふ：85→94  
まんこ：にくあつ  
あなる：がぼがぼ  
にょうどう：だだもれ  
ぼにゅう：たれながし  
けいけん  
にんずう：3けた  
こまかいことはおぼえていない

ちから：1  
すばやさ：122  
(まんこだけ)  
たいりよく：99  
かしこさ：1  
うんのよさ：50  
さいだいHP：193  
さいだいMP：0  
いっばんじんむけ  
かんいといれ  
みならいべんき

公衆便所期待の新便器、ちんぼ狂い。

童顔、低身長、爆乳と三拍子揃った期待の新人。  
歴戦の肉便器たちと比べテクニックは拙いが真面目な性分と生来のどM気質が  
背中を押し人気急上昇中。

実は元・貴族の令嬢。  
容姿と才能に恵まれ何不自由なく育ち英才教育を経て憧れの賢者へ。

だが転職の儀式直後に狙いすましたかの様に拉致され強姦、  
ひと月に及ぶ調教生活で今度は肉便器へ転職。  
まるでお手本のような経歴の持ち主。

彼女の現在の境遇を家族も把握しているが、家の名誉の為に  
既に●んだものとして処理されている。

尚、お忍びではあるが一度彼女の父親も来訪し、三日三晩ハメ倒した事がある。

街の名前はアリアハン  
私はその街の住民

魔王亡き今の世の中  
人々は平和を通り越し  
爛れた生活を謳歌していた。  
私もその一人。

今日もなけなしの金を手に  
酒場裏の「公衆便所」に足を運ぶ。

1 day  
No. 14  
2 Gold

先日使った便所僧侶は本日使用中。  
仕方なく公衆便所を散策していると  
「ソレ」に遭遇した。  
若くして高名な職に就き  
若くして便器に成り下がった  
賢者の面汚し  
名を「ソファイア」といった。

♀

年齢は十と少々。  
便所僧侶よりさらに若い。

幼い顔立ちに蕩けた微笑。  
まるでちゃんぽと添い遂げる為に  
生まれてきた体つき。

ろくな値段交渉もないまま  
目が合っ私を屋内へといざなう。

便所特有の鼻をつく性臭。

相変わらずの手厚い洗礼、  
躊躇いを隠せないが抵抗を押し殺し  
手に手を取り合い乗り込んだ。



♪

二人だけの世界。  
しばしの間、  
互いの肉体を値踏みする

年齢とは不釣り合いに肥大し  
ぶら下がった乳房。  
決壊した乳首から  
とめどなく噴き出す乳汁  
熟れきった臀部に  
はちきれんばかりの太腿



そして立ち込める  
腐臭を押しつけ  
便女特有のフェロモン  
その全てに魅了された

卑猥に実ったその果实

若さ特有の押し返すような弾力はなく  
手指にまとわりつくような感触

逆に手指を愛撫されてるような  
不思議な感触に驚かされる。

このサイズの乳房は  
持て余すことが多いが  
まるで乳房の七変化。

そんな杞憂をものともしない  
暴力的な柔らかなさで  
興奮を掻き立てる

ぷんぷん

ムンムン

カキカキ

カキカキ

あは

あは

HOOKEE



乳遊びに興じていると  
不意に流れる不思議な空気  
互いの唇を求め、舌を絡め合う。

本来、入室と同時に  
即尺、即フアックが  
当たり前前の公衆便所。

「汚い」

普段はそう思い、  
敬遠するが今は特別、  
掻き立てられた劣情と  
火のついた情欲が背中を押し  
争うように互いを貪り合う。

欠片程の理性が  
溶けていく

至近距離、視界二面の便所顔、  
官能がより二層  
熱を帯びていく





唇を離し  
腐った空気を取り込む

無呼吸愛撫により  
軽度のチアノーゼ

無言で見つめ合い  
怪しく噛む  
互いの健闘を称え合う

顔面を彩る  
汗やよだれに  
それはまるで  
壮絶な戦いの  
後のようだった

アキ...

ピラ  
ピラ

毒蛾の粉

吸引した者の脳に作用し  
混乱、錯乱状態に貶める

分量を間違えると  
命の危険を伴う為  
一般的な性行為では  
御法度のブツである

ちんぽッ♡

ちんぽッ♡

だが相手はたかが肉便器

細かい事は気にしない  
ありつたけを  
猛ったちんぽに塗していく

こんなものを啜えたら！  
ハメたらどうなってしまうのか  
滲み出る悦びと興奮、期待で軽いパニック状態  
涎を垂らし、股間を掻き走り、アナルを慰める  
その様は知性を持たぬ生物、化け物、モンスター



便女を足元に  
かじずさせる。

お預け…  
待て…待て…

知性の欠片も感じられない  
不様な有様、タマを頼張り、  
竿にその狙いを定める

ちんぽに注がれる  
熱い視線。

この光景、この感覚  
いつもの味わつても  
いいものだ。

よし

合図とともに  
おちんぼ解禁

飛びつく  
ちんぼ便女

味見を兼ねて  
亀頭の周りを二舐め二舐め  
どうやら気に入ったようだ

ちゅる。ちゅる。

呼吸おくと  
一気喉奥まで呑み下す

その味、その形、その熱  
全ての情報その全てを  
脳髓に叩き込む

賢者としての知識欲か  
便器としての本能か  
はたまたその両方か

そのすべてを吸収し、  
理解し、蓄える

フッ♡  
フッ♡  
フッ♡

どうやら準備が  
完了したようだ

さあ元賢者様がどう  
ちんぼを料理するのか  
見せて貰おうとしよう

ぐんぐん

計算外、誤算  
見当違い

毒蛾の粉の影響か  
この便女……  
考える事を放棄した

こちらの事などお構いなし  
全力フルパワーで  
ちんぽをひっこ抜きに来た

ぐんぐん  
ズンズン

力任せの  
デイトフスロート

挿入時の嘔吐反射を  
力でねじ伏せ  
抜去時に溜めた力を開放する

便器に相応しい  
実に下劣、卑俗  
且つ機能的

不本意ながら  
最善の二手

ズンズン

ちんぽ以外の事など  
頭にはない。

訪れる絶頂の予感  
それでも攻め手を  
緩めない。

唇、口内、食道。  
それら全てを連動させ  
奥へ奥へと誘っていく

まるで家畜の摂食行為  
不様な鳴き声  
浅ましいちんぽ顔

くほん  
31 ぐん

ああ、堪らない

それらすべてに  
排泄欲をより一層掻き立られ  
稲妻の様な快楽が脳髓を食い荒らし  
本日最初の絶頂を迎えた。



よくやった。  
と言っておこう。  
ベテラン便器劣らない  
素晴らしい奉仕活動だった

意志の疎通など一切ない。  
卑猥で、粗暴で、独善的な  
押しつけがましい排泄補助。

おぼつかない

立て続けの  
無呼吸搾精行動。

おぼつかない体を  
引きずり必死のアピールを  
繰り出す。



毒沼の様に体全体に  
纏わりつく  
脱力感と倦怠感

涙と涎、鼻水、吐しゃ物まみれの  
ちんぽを奮い立たせ  
目の前の便器に立ち向かう。

剥き出しマンコが口を開け  
こちらをじっと見つめている。

臭気とフェロモンが  
鼻孔を貫通し理性を  
完全に麻痺させる。

ぐっ  
はぁ...

二人の距離が...  
二人と一つの距離が  
縮んでいく...

ちんぽ...♡

ちん...ぽ♡

ちんぽとまんこの  
視線が絡み合う

ohy♡  
ohy♡  
ohy♡



呼吸を合わせ奥へ奥へと  
侵入を試み…受け入れていく  
先程までとは二転  
牛歩の如く。

肉襲二つ二つの感触、  
その変化を愉しみ  
カリ首の高さ  
浮き出る血管の二つ二つを  
じつくりと執拗に意地汚く食す。  
もうすぐ訪れる最奥の間。

子宮口—

そこへの到達が開始のゴング  
もうすぐ…もうすぐだ  
そして…今、届いた。

ズズ…グググ…

便所の内外に  
響き渡る打肉音

嬌声飛び交う便所街を  
ぶった切る大絶叫

堰(せき)を切ったように、  
狂ったように叩き込まれる  
会心の二撃

おんがッ  
おんがッ

ビッ  
ビッ

おんがッ  
おんがッ

カッ  
カッ

ガッ  
ガッ

ビッ  
ビッ

ビッ  
ビッ

ちんぽの二撃で宙を舞い  
二撃目で突き飛ばされ  
壁に叩き付けられるところを  
引き留める

ちんほ...  
ちんほ...  
ちんほ...

一つの単語を連呼する。

たつたの数秒で砕かれた  
紛い物の理性と尊厳  
引き換えに吐き出した  
たつた二つの言葉

その単語にすべての  
感情を乗せて咆哮する

その狂態に煽られ  
ちんほはさらに加速する  
一突きごとに激しく強く  
ただ深く



絶頂開始から二時間

絶え間なく響く絶叫と  
止め処なく溢れ出す  
体液の奔流

狂ったように咆哮し  
襲い掛かる快樂の純度を  
更なる高みへと押し上げる

攻めの絶頂  
自らちんぽを求め行為

ちんぽっ

ちんぽっ

ちんぽっ

おっ

おっ

おっ

ちんぽちんぽ  
ちんぽちんぽ  
ちんぽちんぽ  
おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ  
おっおっおっ

ビトの交尾としては  
この上なく最高峰、  
便器としては紛い物

このまま二気に追い込んで  
化けの皮を引っぺがし  
便器の本分をわからせる

三三三

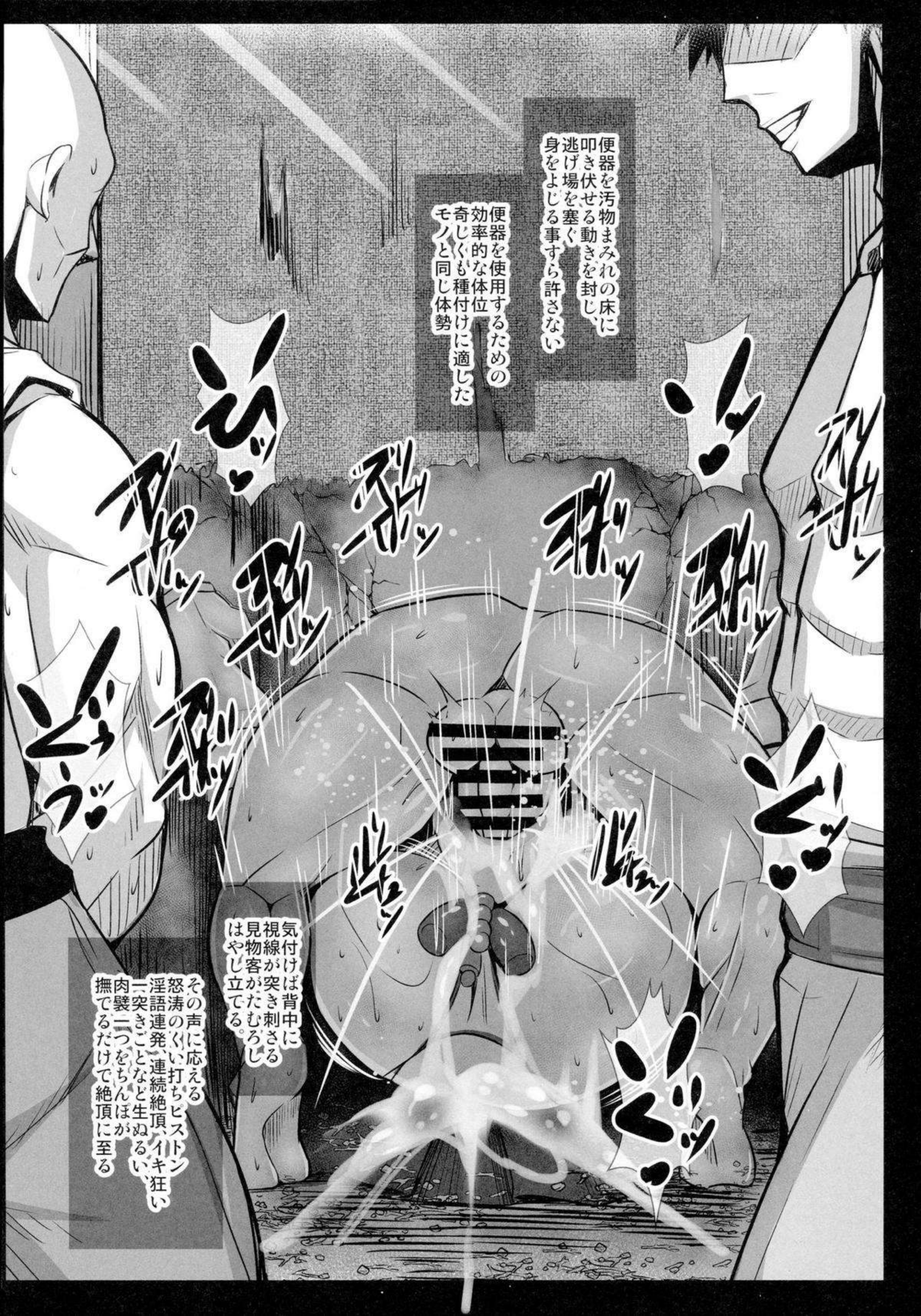
絶頂

便器を汚物まみれの床に叩き伏せる動きを封じ、逃げ場を塞ぐ事を許さない

便器を使用するための効率的な体位、奇しくも種付けに適したモノと同じ体勢

気付けば背中に視線が突き刺さる見物がたむろしはやじ立てる

その声に應える怒涛のくいで打ちビストン淫語連発、連続絶頂、イキ狂い一突きごとなど生ぬるい肉褻二つをちんぽが撫でるだけで絶頂に至る



一体どれほどの時間を  
こうしていただろうか。

後ろのギャラリイは  
すっかりなりを潜め  
一人と二人だけの  
時間が訪れていた

肝心の便女は  
ちんぽを啜えたまま  
幸福に満ちた表情を  
浮かべたまま  
気を失っている。

嗟い、痙攣し、それでも尚  
便器として幸福に  
愉悦の表情を浮かべている

アッアッ

ビビッ

ビビッ

アッ

アッ

アッ



ひとしきり  
便所穴に精液と  
小便を排泄し終え

ふと！視線を降ろすと  
汚物にまみれたソレと  
目が合った

あれだけ叩き込んで  
やっただけというのに  
ピンピンしている。

あ...

ん

い

カカ

股間をまさぐり、掻き筆り  
挑発し、蠱惑し、誘惑する

仕方ない！今日はこいつを  
予定変更だ！徹底的に仕込んでやるわ

そして...

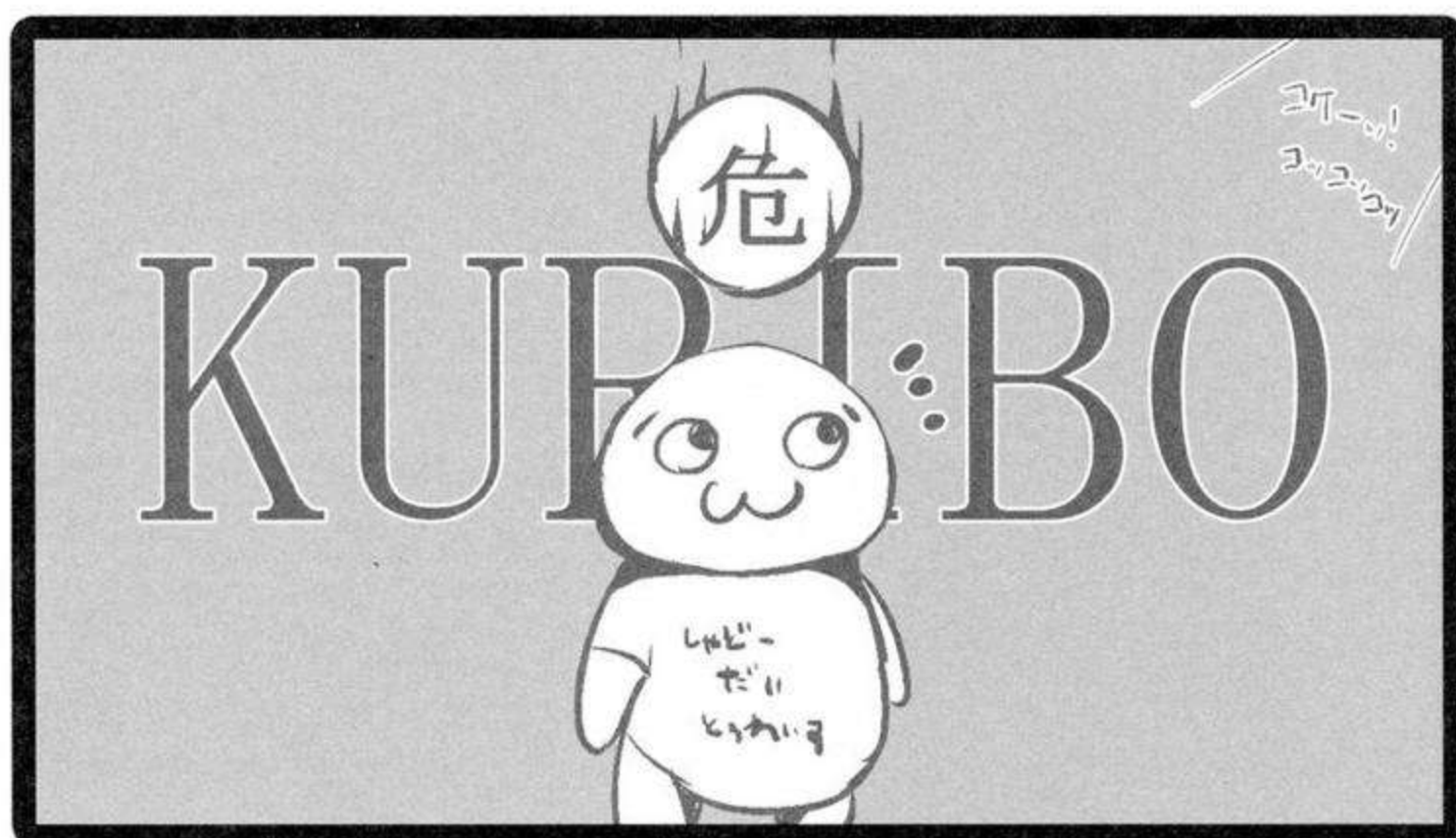




あとかき

おひさしぶりです、くりぼです(´◡ω◡`)

今回サークルカットと違う内容で申し訳なさみです。  
次こそは…次こそは…



追伸：SEKIROやってみたい

## 奥付

元・賢者見習い肉便器に  
ち○ぼの味を叩き込む本。  
発行日：2019/08/12  
発行者：たねなしくりぼ(kuripod)  
e-mail：kuripod2010@gmail.com  
pixivID:893422  
twitter:kuribooze  
印刷所：サングループ  
Scans by Super Shanko



**Dragon quest III fanbook**

**kuripod**

**kuripod 2019**